

2021年産米の収穫予想(7月31日現在)

【作柄(水稻)】◆全国作況102の「やや良」

本社は、各都道府県別の7月末までの気象データを、作況推計プログラムに投入して作況および収穫量を予想しました(8月1日以降、収穫期まで天候が平年並みに推移した場合の予測値です。天候経過によっては上振れ・下振れの余地があり、確定的なものではありません)。

2021年産(令和3年産)の水稻作柄は、全国作況102の「やや良」が予想されます。一部地域で低温や日照不足等の影響が懸念されるものの、北日本を中心に7月中旬以降、高温・多照傾向で経過したことから、全もみ数は平年並み以上に確保されると見込まれます。地帯別の作況は、▽「やや良」＝北海道105、東北・北陸103、関東102、沖縄102▽「平年並み」＝東海・近畿101、中国100、四国99▽「やや不良」＝九州98が見込まれます。都道府県別では、102～105の「やや良」が18道府県、99～101の「平年並み」が23都府県、95～98の「やや不良」が6県と見込まれます。なお、8月以降も高温傾向が続いているため、作況の上振れ余地がある一方、▽高温の程度▽台風の動向▽病虫害等の影響―に留意する必要があると見ています。なお、陸稲は、干害が懸念されます。

【作付面積】◆水稻推計130万6千ha(主食用米等)

生産調整の取り組み状況や各県等への聞き取り、自然かい廃等を踏まえ、本社としては主食用米等の水稻作付面積を130万6千ha、前年産実績比6万ha減と推計しました。なお、政府備蓄米、加工用米、新規需要米など生産調整の対象分は収穫予想から除外しています。また、非主食用米への取組申請手続きで一部に期限後修正の特例措置が認められていること等から、変動の余地があります。

【水稻収穫量】◆主食用米等710万5千トン

作付・作況予測に基づく、7月31日現在における本年産水稻主食用米等の収穫予測は、全国平均で10a当たり収量544kg、収穫量710万5千トン、前年産実績比12万トン減と見通しました。

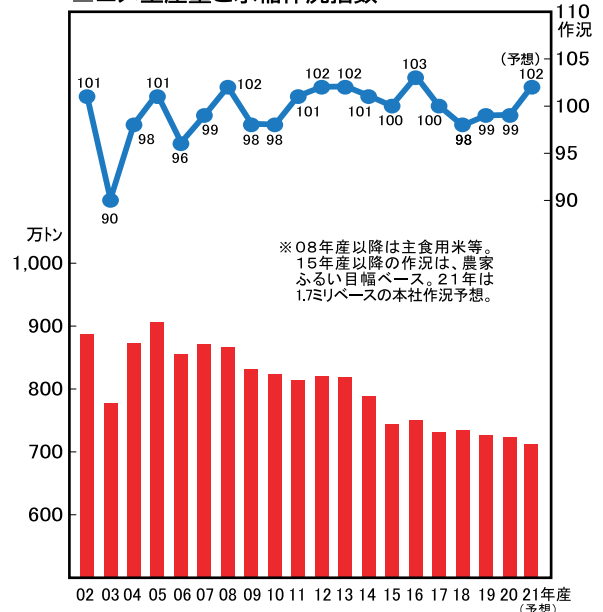
令和3年／4年(令和3年7月から4年6月)における主食用米等の供給量は、令和3年6月末の在庫218万8千トン(農水省・速報値)と、上記の予想収穫量を加えて929万3千トンと見込まれます。基本指針で7月に策定された需要見通し702万6千トンを差し引くと、令和4年6月末の在庫は226万7千トンと見込まれます。新型コロナ禍で需要量は引き続き下振れする余地があり、全体需給は過剰傾向が想定されます。

[表1] 全国の収穫予測(主食用米等)

			2021年産	前年差	前年比
合計	作付面積	ha	1,307,000	▲ 60,000	95.6%
	収穫予想	t	7,106,000	▲ 121,000	98.3%
水稻	作付面積	ha	1,306,000	▲ 60,000	95.6%
		kg	544	13	102.4%
	収穫予想	t	7,105,000	▲ 120,000	98.3%
	作況指数		102	-	-
陸稲	作付面積	ha	570	▲ 66	89.6%
		kg	233	▲ 3	98.7%
	収穫予想	t	1,300	▲ 200	86.7%

(注)加工用米、新規需要米は除く。陸稲の作柄は平年並みとして試算。ラウンドのため計が合わない場合がある。作況指数の前年差・比は、農水省公表の農家等ふるい目幅の基準が異なるため、表記せず。

■ コメ生産量と水稻作況指数

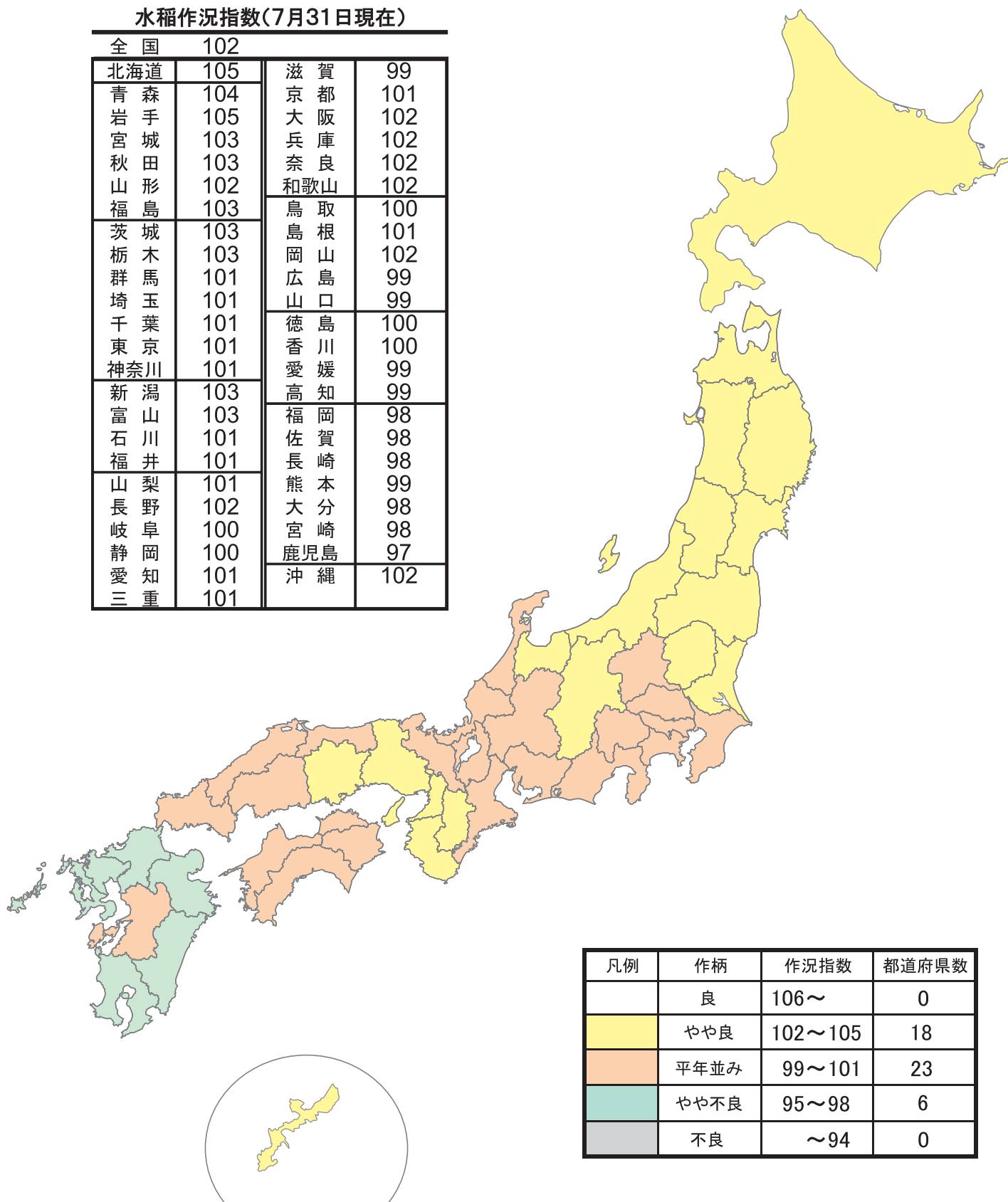


2021年産水稻の都道府県別作柄

米穀データバンク予測

水稻作況指数(7月31日現在)

全 国	102		
北 海 道	105	滋 賀	99
青 森	104	京 都	101
岩 手	105	大 阪	102
宮 城	103	兵 庫	102
秋 田	103	奈 良	102
山 形	102	和 歌 山	102
福 島	103	鳥 取	100
茨 城	103	島 根	101
栃 木	103	岡 山	102
群 馬	101	広 島	99
埼 玉	101	山 口	99
千 葉	101	徳 島	100
東 京	101	香 川	100
神 奈 川	101	愛 媛	99
新 潟	103	高 知	99
富 山	103	福 岡	98
石 川	101	佐 賀	98
福 井	101	長 崎	98
山 梨	101	熊 本	99
長 野	102	大 分	98
岐 阜	100	宮 崎	98
静 岡	100	鹿 児 島	97
愛 知	101	沖 縄	102
三 重	101		



凡例	作柄	作況指数	都道府県数
	良	106～	0
	やや良	102～105	18
	平年並み	99～101	23
	やや不良	95～98	6
	不良	～94	0

[表2]2021年産水稻(主食用等)の収穫予想(7月31日現在)

(単位:面積ha、10a収量kg、収穫量t)

	作付面積	10a予想収量	作況指数	予想収穫量	前年差
全 国	1,306,000	544	102	7,105,000	▲ 120,000
北海道	89,900	580	105	521,100	▲ 32,600
青 森	36,100	626	104	226,000	▲ 14,500
岩 手	46,900	567	105	265,900	▲ 600
宮 城	61,300	557	103	341,600	▲ 14,400
秋 田	72,800	594	103	432,700	▲ 20,600
山 形	55,000	610	102	335,500	▲ 15,900
福 島	54,300	568	103	308,200	▲ 24,500
茨 城	61,100	541	103	330,400	▲ 17,400
栃 木	51,200	556	103	284,800	▲ 10,600
群 馬	12,700	503	101	63,900	▲ 3,600
埼 玉	29,100	497	101	144,600	▲ 7,200
千 葉	49,000	549	101	269,200	▲ 12,700
東 京	120	418	101	500	4
神奈川	2,930	499	101	14,600	400
新 潟	101,100	562	103	568,600	▲ 26,800
富 山	32,300	562	103	181,600	▲ 3,000
石 川	22,100	528	101	116,700	▲ 3,100
福 井	22,500	524	101	117,900	▲ 2,800
山 梨	4,700	552	101	26,000	600
長 野	29,700	631	102	187,500	1,500
岐 阜	20,500	485	100	99,400	▲ 1,200
静 岡	14,700	520	100	76,400	2,800
愛 知	25,500	512	101	130,600	1,200
三 重	25,900	505	101	130,800	2,900
滋 賀	28,800	513	99	147,700	▲ 3,500
京 都	13,300	515	101	68,500	▲ 600
大 阪	4,550	505	102	23,000	800
兵 庫	34,100	511	102	174,300	8,300
奈 良	8,380	523	102	43,800	3,200
和歌山	6,150	507	102	31,200	2,300
鳥 取	12,500	514	100	64,300	▲ 1,200
島 根	16,200	516	101	83,600	▲ 2,200
岡 山	27,600	537	102	148,100	2,200
広 島	21,400	523	99	111,900	2,100
山 口	17,100	499	99	85,300	16,600
徳 島	9,900	474	100	46,900	▲ 4,000
香 川	11,900	496	100	59,000	1,500
愛 媛	13,000	493	99	64,100	1,100
高 知	10,800	451	99	48,800	300
福 岡	33,800	486	98	164,300	21,200
佐 賀	22,800	509	98	116,000	14,000
長 崎	10,400	472	98	49,100	2,700
熊 本	31,400	508	99	159,500	7,700
大 分	19,400	489	98	94,900	14,300
宮 崎	13,500	486	98	65,600	▲ 2,300
鹿児島	16,800	470	97	79,000	▲ 2,500
沖 縄	600	315	102	1,890	▲ 100

[注]面積は本社推定。備蓄米、加工用米、新規需要米等は含まず。10a予想収量は、ふるい目幅1.7mm基準で、作況指数は農水省が採用する農家使用のふるい目幅ベースと異なる。

(参考)

米穀データバンクの作況予測[1.7mm基準]の推移

年産	本社予測7/31	農水省・初回	農水省・最終
H5	93	(8/15) 95	74
6	108	(8/15) 105	109
7	100	(8/15) 100	102
8	100	(8/15) 101	105
9	103	(8/15) 102	102
10	97	(8/15) 99	98
11	103	(8/15) 103	101
12	103	(9/1) 103	104
13	102	(9/15) 103	103
14	102	(9/15) 101	101
15	94	(9/15) 92	90
16	103	(9/10) 101	98
17	100	(9/15) 102	101
18	96	(9/15) 97	96
19	99	(9/15) 99	99
20	102	(9/15) 102	102
21	96	(9/15) 98	98
22	102	(9/15) 99	98
23	101	(9/15) 101	101
24	102	(9/15) 102	102
25	100	(9/15) 102	102
26	102	(9/15) 101	101
27	100	(9/15) 100	100 [100]
28	100	(9/15) 103	103 [102]
29	102	(9/15) 100	100 [100]
30	102	(9/15) 100	98 [99]
R元	100	(9/15) 101	99 [99]
2	98	(9/15) 101	99 [99]

[注]本社予測は、5年産は早場13道県で8月10日現在。6年産以降は全国を対象としています。一方、農水省は平成12年産以降、全国の作柄概況の8/15現在を文字情報に変更し、9/15現在からの公表になっています。12年産は作期が早まり特例措置として9/1現在の数字が公表されたほか、16年産は9/10現在に変更されています。なお、農水省は平成27年産から農家等が使用しているふりい目幅ベースの作況公表に変更しています。

[]内は、従来の1.7ミリ基準で計算した場合の作況指数です。本社は1.7ミリ基準で予想しています。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社米穀データバンク 佐藤・平

TEL:03-3863-5391／03-3964-9472
